

2012年(平成24年)11月14日 水曜日



サンタさん、避難先に来てね

「本物のサンタさんに来て頂いて、子供達にステキな夢をお願いします」。本場フィンランドのサンタクロースを招く活動をする団体に10月下旬、こんなはがきが届いた。差出人は原発事故で福島県を逃れ、江東区で避難生活を送る女性。8歳の息子の切ない思いがつつられていた。

「ママ、今年はサンタさん来るのかなあ〜?」。昨年クリスマス前、女性は息子に

江東区に住む福島の子
フィンランド協会へ手紙

そう尋ねられたという。「どうして?」と聞き返すと、寂しそうに、「だって、日本人だってボク達がここにいる事なんてだれも知らないのに、サンタさんは外国人だから、もっとわからないと思うから」。

はがきによると、女性の夫はクリスマスも福島県での仕事のため、サンタの代わりはできそうにない。息子は今年も寂しそうだといひ、女性は

本物のサンタの来訪を望んでいる。

はがきは、日本・フィンランドサンタクロース協会(静岡市)に届いた。協会は、全国から「サンタへの手紙」を募る活動を2009年から続けており、手紙の数が最も多い都道府県に毎年、フィンランドからサンタを招いている。今年の締め切りは今月15日(消印有効)。宮田仁美代表は「もし東京都が最多になれば、この女性の避難先をサンタが訪ねられるように努力したい」と話している。